

# 第18回 MASセミナー 港

「みぢかにほしいコミュニティ」

日時:2015/3/7(土)  
講演:14:00~16:00



「新しい近隣コミュニティ萌芽のための場所づくり」  
都会における現代の生活者にとって最も不足しているものとして掲げられるものに近隣コミュニティがあるのではないのでしょうか。近隣としての互いの意識が失われはじめてから半世紀余り、長い時間が過ぎてしまいました。今、近隣というイメージさえ稀薄ななか、新しい触れ合いの場の模索からまず始めなくてはならないでしょう。誰でも自由に参加、意見の言える雰囲気のみぢかな場所づくりが必要と思います。その中から新しいコミュニティの萌芽を期待したいと思うのです。



今井 均



知識格差—孤独な瞑想に沈んで、生死の意味を考えているような人にはコミュニティは邪魔。反対に声をかけて気遣ってくれる人たちの中にいたい人はどんなあてもいいから、コミュニティを求める。  
世代格差—若い世代には同じ思いの人たちと連携して仕事や生死を共にしたいとの思いもあるかも。老年には一人で生きていてもいいが、看取ってくれる身近なコミュニティが欲しい、とか。  
職業格差—グループ・ワークや、上下でも組織化しないと仕事にならず、そういう集合体に生きる意味を見出す人たちや、反対に、個人的な創造行為などに意味を見出すために、連携したくても面倒の方が先に立つ人たちも。  
地域格差—都会と、地方ではコミュニティに求めるものが全く違う。  
ネット格差—電子情報に満足する人たちと、それには不安を感じる人たちの差。



これらの組み合わせによる、コミュニティへの格差もあるんじゃないでしょうか。

大倉富美雄



「コミュニティーって？」

私たちが「うち」と「そと」の境界を無意識であれ家の玄関と考えている一方で歴史的経験からその境界を城壁と考える国がある。  
オルテガ・イ・ガセット（西）の言葉に「人は何のために家をつくるのか。それはそこに住むためである。では人は何のために街をつくるのか。そこで人と会い、人と話しをするためである。」ここでは「うち」と「そと」の境界は街の外側にある。あるいは彼の部屋の扉である。  
“必要は発明の母”の通り不要なものは進化も発展もしない。私たちにとって今声高に言われる“コミュニティー”はこれまでそれほど必要とされずに暮らしてこられたのではないか。向こう三軒両隣のな…………。



鈴木 理己

「コミュニティーのために建築にできること」

「コミュニティーというのは何か？」と考えたとき、現代では、身近な友人やサークル活動の仲間、職場の人間関係、町内会、ひいてはネット上のSNSまで、その言葉が喚起するイメージはさまざまです。地縁的なコミュニティーが失われたといわれる現代にあっても、人間には「住まい」のそばにある、顔の見えるコミュニティーは、本当に必要なものかもしれない、と思います。そのようなコミュニティを作り出すのに必要なことはどんなものなのでしょうか。そのために建築にできることはあるのかと、考えてみたいと思います。



田口 知子

「多世代の人間関係をつくる」

個人の自由とわがままが蔓延している現代社会。人間関係が希薄になり、若者は人との付き合いに馴染まず、些細な言い争いが犯罪まで発展する。若者は巣立つと街から出ていき老人しか残らないため、次世代の地域社会に赤信号が灯る。こども・若者を巻き込んだコミュニティーがなければ、いずれ街は死んでいく。街の再生は、景観ではなく日常生活を取り戻すことにあるのかもしれない。子供の笑顔のある街角から考えたい。



宮田多津夫

「港地域だからこそそのコミュニティ」

多くの物・人が集積される都会では、開く意識より防御することが優先されることは否めません。しかし港地域に眼をむけると、コミュニティは存在しないのではなく、価値観や社会を共有するレイヤー別に、様々な集まりが複雑に絡みあっている特徴があるのではないでしょうか？落ち着いた雰囲気を残してきた港地域のコミュニティの見える化を、一般論ではなくこの港地域に絞って考えられたらと思います。



村上 晶子

「まちづくりからコミュニティを創る」

高度成長社会の中で、核家族化、効率優先、過度な防犯意識といった状況の中、人と人が繋がる機会が少なり、近所のコミュニティも薄らいでしまいました。建築基準法を満足すれば何でも建てられるという乱開発に対して、反対する地域住民との間にトラブルが生じてきました。それを解決すべく街づくり条例ができ、専門家が関わる中で、住民参加のまちづくり活動が行われています。その中で、住民同士の美しい街を創りたいとの連帯意識が生まれ、結果として人と人の繋がりが醸成さ



連健夫

れており、これは現代的なコミュニティ創る1方法と言えそうです！